

九州デジタルエンジニアリング研究会 (KDK) の熊本セミナーを以下のように開催します。
多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

九州デジタルエンジニアリング研究会(KDK)セミナーのご案内

- ◆日 時 / 2018年6月29日(金) 13:00~17:30 (受付開始 12:30)
- ◆会 場 / 熊本城付近 城彩苑 多目的交流施設 2階
http://www.sakuranobaba-johsaien.jp/
- ◆主 催 / 九州デジタルエンジニアリング研究会 (KDK) http://kdk.firebird.jp/
- ◆共 催 / 熊本県産業技術振興協会、熊本県ものづくり工業会
- ◆参加費 / 無料 ◆定員 / 80名

《スケジュール》

- 第1部 13:00~14:35 【司会：熊本県産業技術センター 土村 様】**
13:00~13:05 ◇開会挨拶 KDK 会長 佐賀大学 萩原 世也
13:05~13:50 ◇特別講演1 ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 宮永 卓実 様
「当社が取り組むサイバーフィジカルシステムについて」
13:50~14:35 ◇特別講演2 株式会社ワイズ・リーディング 永木 賢士 様
「ワイズ・リーディングのイノベーション創造活動 ~これまでとこれから~」
(休憩 14:35~14:45)
- 第2部 14:45~16:00 【司会：黒崎播磨株式会社 神尾 様】**
14:45~15:05 ◇事例紹介1 平田機工株式会社 豊島 聡宏 様
「Hirataにおける構想品質・提案力向上の取り組み」
15:05~15:25 ◇事例紹介2 オムロンリレーアンドデバイス株式会社 横手 康浩 様
「LS-DYNAを活用したリレー負荷開閉部の挙動解析」
15:25~15:45 ◇事例紹介3 熊本県産業技術センター 濱嶋 英樹 様
「創造的復興に向けた熊本県産業技術センターの取り組み」
15:45~16:00 ◇事例紹介4 株式会社 JSOL 宮崎 美季 様
「現物モデリングの活用事例(Simpleware)」
(休憩 16:00~16:10)
- 第3部 16:10~17:30 【司会：株式会社富士通九州システムズ 吉野 様】**
16:10~16:25 ◇事例紹介5 ダッソー・システムズ株式会社 伊藤 宏隆 様
「デジタルデータで都市そのものを3D化するシンガポール」
16:25~16:40 ◇事例紹介6 サイバネットシステム株式会社 栗崎 彰 様
「設計者解析の最終型、ANSYS Discovery Live」
16:40~16:55 ◇事例紹介7 株式会社電通国際情報サービス 百崎 勇市 様
「最適化が導く新しい設計プロセス (SolidThinking Inspire)」
16:55~17:10 ◇事例紹介8 計測エンジニアリングシステム株式会社 児島 正哲 様
「設計者も使える！CAE技術の未来像~COMSOL Server」
17:10~17:25 ◇事例紹介9 エムエスシーソフトウェア株式会社 立石 源治 様
「電子デバイスの信頼性評価に関連する解析機能の紹介」
17:25~17:30 ◇アンケート記入

懇親会 18:00~ 会費 4,000円 場所: ビュッフェレストラン ぎんなん 熊本城 城彩苑 同一敷地内 tel 096-312-2691

- ◆駐車場は準備しておりませんので、お車でお越しの方は会場周辺のコインパーキングをご利用ください。
- ◆申し込み期限は 6月27日 ◆お申し込みは、下記申込書にてFAX、またはメールにてどうぞ。
- ◆お問い合わせは 九州デジタルエンジニアリング研究会 事務局 山口(アイグラフ) まで
TEL 093-644-2397 FAX 093-644-2398 E-mail: ig01yama@nifty.com
有限会社アイグラフ 山口 行 FAX 093-644-2398 〈申込み締切り 6/27〉
「KDK 熊本セミナー6/29(金)」申込

事業所名		電話番号	
住 所		FAX 番号	
氏 名		懇親会	出席 欠席

KDK 熊本セミナー(2018/6/29(金)) 講演概要

◇特別講演1 ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 宮永 卓実 様

「当社が取り組むサイバーフィジカルシステムについて」

【概要】 当社が取り組んでいるサイバーフィジカルシステムについて、基盤となる Smart Factory 構想、それらを実現する為の要素技術の紹介、及び一部活用事例の紹介をさせていただきます。

◇特別講演2 株式会社ワイズ・リーディング 専務取締役 永木 賢士 様

「ワイズ・リーディングのイノベーション創造活動 ～これまでとこれから～」

【概要】 医師不足、特に読影医の不足は、劇的なイノベーションが起こらない限り解消不可能な状況と言われています。今回は、弊社がこれまでに取り組んできた AI を活用した課題解決方法と、今後の構想についてご説明させていただきます。

◇事例紹介1 平田機工株式会社 グローバル事業本部 解析グループ 豊島 聡宏 様

「Hirata における構想品質・提案力向上の取り組み」

【概要】 当社では、各専門のエンジニアがさまざまな角度から計画案を検討することで、より最適な生産システムを提供しています。今回はもっとも上流工程に位置する『搬送シミュレーション』についてご紹介いたします。

◇事例紹介2 オムロンリレーアンドデバイス株式会社 (汎用)リレー設計部 横手 康浩 様

「LS-DYNA を活用したリレー負荷開閉部の挙動解析」

【概要】 リレーの開閉性能に影響を与える特性として、負荷開閉部の機械的挙動があげられる。設計段階でその特性の予測を行うため、LS-DYNA を用いて検討した取り組みを紹介する。

◇事例紹介3 熊本県産業技術センター ものづくり室 研究主任 濱嶋 英樹 様

「創造的復興に向けた熊本県産業技術センターの取り組み」

【概要】 熊本県産業技術センターは工業系の公設試験研究機関として、県内企業に対して技術相談、設備開放、依頼試験、研究開発等の様々な技術的な支援を行っています。今回の発表では当センターが行っている業務内容、最近の導入機器等、デジタルエンジニアリングにおける創造的復興に向けた取り組みについて紹介します。

◇事例紹介4 株式会社 JSOL 宮崎 美季 様

「現物モデリングの活用事例(Simpleware)」

【概要】 X 線 CT 装置、電子顕微鏡、3D レーザースキャナなど測定装置の普及がますます進んでいる今、現物を測定してモデルを作成するニーズが拡大しています。製造工程や材料に起因して実際には「CAD モデル=現物」といえない製品のリバースエンジニアリング、複合材料・土石、人体など CAD で設計できない対象物の内部構造統計分析やシミュレーション、これらに使用できる測定データを用いて現物モデリングにより解析や開発へのフィードバックに活用できる Simpleware ソフトウェアの機能や事例をご紹介します。

◇事例紹介 5 **ダッソー・システムズ株式会社 伊藤 宏隆 様**

「デジタルデータで都市そのものを 3D 化するシンガポール」

【概要】 ダッソー・システムズはシンガポールで都市を丸ごと 3次元データ化する取り組みを進めています。都市計画の効率化に加えて、ビジネスに活用すれば、多種多様な可能性が広がることとなります。とりわけ期待されるのが、自動運転車や EV（電気自動車）向けのインフラ整備における活用です。

◇事例紹介 6 **サイバネットシステム株式会社 メカニカル CAE 事業部 シニア・スペシャリスト**

首都大学東京客員研究員 栗崎 彰 様

「設計者解析の最終型、ANSYS Discovery Live」

【概要】 ANSYS Discovery Live は、メッシュ作成なし、解析待機時間なし、形状の修正なし。設計者の工学的な思考の裏付けを強力にサポートします。設計の初期段階で設計者に発見と確信をもたらす、設計者解析ツールの最終型、ANSYS DiscoveryLive の機能と効果をご紹介します。

◇事例紹介 7 **株式会社電通国際情報サービス**

エンジニアリングソリューション事業部 ESCAE 技術部 百崎 勇市 様

「最適化が導く新しい設計プロセス (SolidThinking Inspire)」

【概要】 SolidThinking Inspire は、構造解析機能とトポロジー最適化機能を持った設計者用の CAE ツールです。Inspire を使うことで、設計者自らが構造解析や最適化計算を簡単に実施することができます。設計者が CAE と最適化技術を利用することにより、リブ配置や軽量化デザイン、締結位置などを効率的に検討できます。今回は、Inspire を使った新しい設計プロセスと機構解析オプションについてご紹介します。

◇事例紹介 8 **計測エンジニアリングシステム株式会社 児島 正哲 様**

「設計者も使える！CAE 技術の未来像～COMSOL Server」

【概要】 CAE 技術を設計者など製造ワークフローの各部門にも利用してもらおう試みは、いままでも様々行われていましたが、CAE ソフトのインターフェースや設定の難解さから普及には至っていません。そこでスウェーデン・COMSOL AB/米国・COMSOL, Inc. は、有限要素法 CAE ソフトの COMSOL Multiphysics で作成した CAE モデルに、任意の GUI と Java 言語による機能拡張を付加してカスタムアプリ化できる「アプリケーションビルダー」と共に、その CAE アプリを Web アプリとしてネットワーク配信可能な「COMSOLServer」を開発・発売し、設計者など利用者のニーズやスキルに合わせた操作性の GUI と機能を持ったアプリを、CAE 技術者のデスクトップで容易に開発、配信できるようにしました。これにより、元の CAE モデルを拠点のセンターコンピュータから持ち出すことなく、国内外の拠点において、タブレット端末でも CAE 技術を簡単に利用できます。クラウド環境でも設置できる COMSOL Server は、CAE 技術の利用者をワールドワイドの拠点にも広くあまねく展開できる可能性を示しています。

◇事例紹介 9 **エムエスシーソフトウェア株式会社 立石 源治 様**

「電子デバイスの信頼性評価に関連する解析機能の紹介」

【概要】 はんだ接合部の熱疲労解析に代表される電子デバイスの信頼性評価を行うには多岐にわたる解析機能が必要となります。はんだの温度依存型弾塑性構成式、異種材料の接合、き裂進展評価などが代表的な解析機能であり、本講演では Marc プログラムに実装されている本解析に関連する最新機能をご紹介します。